

○蒲郡市の動向概要

1、ラグーナ地区について

【経緯と現在】



- ① 平成3年11月、第三セクターの蒲郡海洋開発(株)が設立されました。
- ② 平成14年4月、ラグーナリーナ開設後、ラグーナシア、フェスティバルマーケットなどが順次オープンされました。
- ③ 平成17年4月、ラ・メルカーサⅢ(マンション)を分譲開始しました。
- ④ 同年11月、減損会計の導入により、195億円の債務超過が顕在化しました。
- ⑤ 平成18年3月、蒲郡市所有の海陽多目的広場を無償譲渡と毎年1億円10年間の増資を決定しました。
- ⑥ 同年4月、学校法人海陽学園が開校しました。
- ⑦ 平成23年春、ラグーナ地区の新しい街づくりについてトヨタ自動車(株)、愛知県、蒲郡市で協議を始めました。
- ⑧ 平成23年秋、稲葉正吉市長が誕生しました。
- ⑨ 平成24年25年、ICT
- ⑩ 平成25年秋、トヨタ自動車(株)、愛知県、蒲郡市三者のおおむねの方針が出されました。
- ⑪ 平成26年4月、固定資産税相当(約3億円)の減免10年間と周辺整備協力というインセンティブをつけHIS傘下のハウステンボス誘致が決定されました。
- ⑫ 同年8月、ラグーナ蒲郡をハウステンボスに譲渡し、ラグーナテンボスとして営業が開始されました。
- ⑬ 平成26年12月末に蒲郡海洋開発(株)(いわゆるラグーナ蒲郡)が解散しました。長短期債務300億円と約75億円の債務超過は解消されました。
- ⑭ 平成27年2月、蒲郡市、愛知県、県企業庁、トヨタ自動車(株)、(株)ラグーナリーナを委員とした「ラグーナ蒲郡地区まちづくり協議会」が設置されました。
- ⑮ 同年4月、蒲郡市が海洋学園北にサッカーフィールド3面を建設開始しました。
- ⑯ 同じころ、愛知県がラグーナ地区と国道23号バイパス金野インター(仮称)を結ぶ道路新設のため、ラグーナ地区内の道路改修を始めました。
- ⑰ 同年9月、トヨタ自動

- ①⑨ 車(株)がラグーナ地区に幹部研修センター建設に向け地鎮祭を行いました。参列者は豊田章一郎名誉会長、豊田章男社長などトヨタ自動車(株)系列17社長、大村秀章愛知県知事、稲葉正吉蒲郡市長、新実祥悟蒲郡市議会議長などです。平成28年秋に完成予定です。
- ①⑧ 同年10月、六つの大学ヨット部の艇庫が移設完了しました。ラグーナテンプルボスが劇場シアター(地下1階、地上2階)の建設を始めるなど、アトラクションの新規投資、更新などを始めました。
- ①⑦ 同年11月、ラグーナテンプルボスは売上高43・5

億円、営業利益4億円となる決算発表をしました。

【今後の予定】

- ②⑩ 平成28年3月、リゾート・トラスト(株)がラグーナ地区に会員制ホテルエクシブ蒲郡(地下1階、地上7階)を建設開始予定です。
- ②⑨ 2年後をめどに、ラグーナテンプルボスが通称「変なホテル」建設予定です。
- ②⑧ 愛知県はラグーナ地区に商業施設誘致予定です。
- 2、先端医療について
- 【経緯と現在】
- ①⑥ 平成15年より以前、現鈴木克昌代議士と(株)ニデック元会長で故小澤

秀雄氏との間で再生医療について協議されました。

【今後の予定】

- ②⑦ 平成26年3月、ICTメディアカル・スマート・タウン構想が「蒲郡市ヘルスケア計画」として制定されました。
- ②⑥ 平成27年7月、厚労省より蒲郡市民病院に対し特定認定再生医療等委員会の設置が認められました。
- ②⑤ 同年8月、再生医療産業化サミットが二日間にわたり開催されました。出席者は森尾友宏東京医科歯科大学院教授など再生医療研究者や関係企業約100社です。
- ②④ 平成27年度中には市民

病院、大学病院、J・T・E・Cの共同で再生治療手術を行う予定です。

【今後の予定】

- ②③ 蒲郡市では産学官をまじえてヘルスケア実施計画を策定中です。
- ②② 国の地方再生戦略に合わせ、新産業創出、人口の社会増を目指しています。



### 3、名鉄蒲郡線支援について

#### 【経緯と現在】

- ① 平成17年、名鉄本社から蒲郡線の廃線も含めた相談がありました。
- ② 平成17年12月、名鉄西尾・蒲郡線対策協議会が設置されました。本協議会は西尾市、蒲郡市、吉良町、幡豆町、名鉄で構成されました。
- ③ 平成21年9月、蒲郡市に市民まるごと赤い電車応援団が結成されました。
- ④ 平成23年11月、西尾市で「にしがま線応援団」という愛称がつけられました。
- ⑤ 平成27年11月29日、名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会が西尾市東幡豆小学校で行われました。



#### 【今後の予定】

- ⑥ 平成27年10月、名鉄は平成32年まで蒲郡線の営業継続を決定しました。
- ⑦ 蒲郡市は名鉄がなくなればJR蒲郡駅の利用が減り、快速が止まらなくなり、通勤に不都合になれば人口の社会減が加速するという悪循環



#### ○要望活動

を危惧しています。蒲郡全体の問題であることは間違いありません。これからも西尾市と共同して乗車数増を目指すイベントなどを行いますが、市民のみなさまには生活の中でのご利用をお願いします。

- 1、11月2日、大村秀章愛知県知事に東三河議長会長として名鉄存続、東三河の道路建設などの要望書を提出しました。
- 2、11月12日、小池保夫日本モーターボート競走会会長にSGレース開催要望をしました。
- 3、同日、ラグビーワールドカップ2019出場チームのキャンプ地として蒲郡を選定していただけるよう鈴木克昌代議士と元ラグビー選手の重徳和彦代議士に要望しました。
- 4、11月24日、東京の森昌文国土交通省道路局長に直接、名浜道路建設要望を提出するとともに、国道23号バイパスの早期全線開通を要請しました。本省の局長との面会機会



12月1日には横山幸泰  
名四国道事務所長に、12  
月11日には大野雄一中部  
地方整備局副局長に同様  
の要望活動を行いました。



はほとんどありません。  
この要望活動は西尾市長、  
幸田町長及び各議会との  
連携を取っています。

11月22日、市民総ぐるみ  
防災訓練が愛知工科大学  
で行われました。新しい取  
り組みとして、塩津小学校



### ○防災訓練

両者ともに、産業の発展  
や観光振興に必要な道路  
であることをご理解いた  
だいております。

の児童が通学途中で災害  
にあったとして避難訓練  
を行いました。  
関係地区のみなさまに  
は感謝申し上げます。  
これを機会に教育委員  
会など関係機関でしっか  
りと検証し、全学校で取  
組むべきと考えます。